

2 自由回答

(1) 性別に関する意識や考え方に関する意見

回答内容	性別	年齢
詳しくは知りませんが、市内唯一の公立保育所が閉所すると聞きました。それに代わる施設やサービスを充実させてほしいと思います。プールの更衣室が女子はあるが男子はなく、プールサイドの外から見えてしまうところで着がえさせられていてどうかと思った経験がある。また、生理でずっとプールを休んでいたら仮病を疑われ男性教員に怒られたという友人がいる。教育者こそ性に対する理解をしてほしいと思う。(7年ほど前の話ですが)	女性	20～24歳
男女という思想は身体機能による負担にとどめるものであって、LGBT+も含め、あくまで人間性や能力で判断されるだけの社会であればいいと思います。「性別」にとられない、判断が大事。	自由記載	30～34歳
男女の差別をなくすことも大切ですが、男性と女性、それぞれの特徴をお互いが理解し協力し合う社会であることが大切だと思います。他国では進んでいますが、小さいころからの性教育の必要性を感じます。人間であることは同じですが、やはり男性、女性は違う生き物です。お互いの違いを理解することが、差別をなくすことにもつながると思います。そしてお互いを大切に支え合える関係になれると思います。	女性	35～39歳
私は、取手に41年程住んでいるが、取手にいることで特に女性だから不利だったと思ったことは一度もない。しかし、このことで悩みを抱えている人がいるなら、それは改善すべきと思う。余談だが、私は昨年、実母のために長年勤めた職場を介護離職しました。介護関係の悩みも今後多くの人が抱える課題だと思っています。	女性	40～44歳
小学校へ通う子供が、男の子を「～さん」と呼ぶようになりました。男女平等ってそういう事ですか？「～君」でも良いと思いますが。上手い方法が見つかりますように。	女性	40～44歳
公共の場でどちらでも入れるトイレが増えると、女子トイレは混みがちなので、マイノリティの方にも女性にも使いやすくないと思う。	女性	44～49歳
自治会活動1つとっても、「女性はこうあるべきだ」という男性の考え方があり、それを押し付けられることで苦痛でしかない。核家族、共働き世帯の中、自治会の活動を行うことは、精神的にも時間的制約もある。防災のためにも活動は必要と言いますが、本当にそうでしょうか。自治会をやめていく人も多く、かえって地域コミュニティができていく状況になっています。様々な原因はあると思いますが、高齢者が多い取手市、その価値観の押し付けは若い世代の住みづらさにつながっていると思います。	女性	44～49歳
自分が勤めて来た(今の会社はのぞく)は、男性上位の会社が多かったですが、女性が起業したり自立したりする際の行政や周りのサポートは男性それよりも手厚くして頂いているように感じました。それは女性が弱いからという考えからなのかもしれませんが、男女性的マイノリティ等、意識しすぎなところが、平等にはつながらない気がします。それからマタハラ、セクハラされる女性の傾向としては仕事ができない、やらない、性格が悪いという話もあります。できる人には会社は辞めてほしくないのに、神経質になっている人ほど、そういう人が多かったので重要視していません。	女性	44～49歳
子どもを産めるのは女性だけという現実をふまえて、男女の平等とは何か考えるべきだと思う。	女性	30～34歳
性差上の区別は生物として絶対的なものであり、(ex. 出産能力、筋力差など)全ての事項で同一の扱いは逆にある意味で暴力的、強制的思想である。(声は大きいから全体数から見れば少数の者の意見に迎合してはならない)一方で性差があると思えない要素(ex. 身体差のない労働、サービス、家庭内の協力分担など)については、男女平等の思想をさらに進めるべきと考える。	男性	65～69歳
息子がまだ小さい頃、話しかけてこられた高齢の女性から、「男の子で良かったな。女は役に立たねっからな。」と言われ驚いたことがあります。取手市には農家が多く、男の子があとをつぐ慣習が普通に残っており、男の子に恵まれなかった家はむこを取ったり、男女平等を目指すには非常に困難な背景があると思いますが、女の子が女の子に生まれたからといってやすい思いをするような社会でなくなって欲しいと思います。	女性	50～54歳

回答内容	性別	年齢
男女という性差による問題があるとしたら、それは組織内の問題、社会的には平等である。特に女性優遇ばかりを打ち出しているが、事実として男性は声を上げていないだけ。	男性	55～59歳
男性と女性は基本的に同じではないと思う。それぞれのいい所を出し合って、助け合って生活できれば良いと思う。みんなが幸せに生きられるよう願います。	女性	65～69歳
平等といっても男性と女性と身体の造りや感情面でもまったく同じでないで、その辺をふまえての平等がうれしいです。	女性	65～69歳
男性にとか女性にとか考えることがまず違っているのでは。役割を決めつけているように見えます。	男性	50～54歳

(2) 男女共同参画社会に関する意見

回答内容	性別	年齢
男女がお互いに協力し合える機会をつくれるよう、研修などがあるといいのかなと思います。	女性	20～24歳
大学のころに男女共同参画についての研究をしていたこともあり、取手市での取り組みにはとても興味があると感じました。女性が働きやすい環境づくりと、復帰しやすい職場の環境が大切だと思っています。今後の様々な取り組みを楽しみにしています。	女性	20～24歳
教育現場の男女共同参画推進不足は、非常に大きな問題だと思います。市の未来のためにも積極的に改善に取り組んでいただきたいです。お願いします。	女性	20～24歳
学校教育では、可能な限り教師よりも有識者、専門家を登用すべき。	男性	20～24歳
個人的には、啓発などは意味はないと思う。少数派を冷たい目で見ると何を考えても無駄だと思う。こういうアンケートをしているのだから取手市はちゃんとしている自治体だと思う。	男性	20～24歳
取手市が男女共同参画を推進していることを知らなかったので、このような活動を行っていることを広く周知させる必要があると感じました。	男性	20～24歳
男女共同参画、男女共同参画社会の推進を叫ばなくても良い社会を望む。若者より高齢者の意識改革を。	男性	25～29歳
男女平等というが、理想論だと思う。ある程度の男らしさ、女らしさについて教えることは悪いことではないと思う。女性は、生理・出産があったり、力も男より弱いし、精神的な面でもやはり違いはある。それを前提にした上で、LGBTなどいろんな人がいて、そのような考えの人のことも尊重することが良いと思う。LGBTだから差別するのではなく「個人」を大切にすることがより重要。	女性	25～29歳
女性を審議会に積極的に起用するのは良いかと思いますが、ただただ感情的に発言するような方を起用するのはちがうと思います。	女性	25～29歳
男女間でどうしても肉体的な差(筋力、出産可否等)があり、完全に平等な男女共同参画は不可と考える。バランスの取れた参画の検討要。	男性	50～54歳
子育て世帯が便利な施設を増やし、子育て支援センターなどで、パパと子どもの日や時間を作ると、子育てに男性が参加する時間が増えたらよいと思います。	女性	25～29歳
・企業や自治体で「管理職女性比率〇%目標」とかかかげるところがよくある。それは、真の意味で、男女平等ではない。・女性活躍の環境や制度は整ってきているが、一番の課題は、家庭での男性の家事や育児への不参加。男性への意識改革を、自治体や企業で行っていく必要がある。	女性	25～29歳
女性に対する差別も男性に対する差別もLGBTに対する差別も、無意識であろうとなかろうとなくなると思います。まず親世代から変わってほしいです。親が偏見に塗られてとても息苦しいです。自分でも推進に協力していこうと思います。	女性	18～19歳
女性の市議会議員を増やす。	男性	50～54歳

回答内容	性別	年齢
このような問題は家庭での教育や環境が根本的に大事だと思います。(次に学校での環境)私は市に求めるのは、学校での教育とバックアップ。制度見直し、セーフティーネットだと思います。	女性	30～34歳
男女共同参画の推進の策は女性に負担が増えるものばかりで、このアンケートは矛盾している。	女性	30～34歳
男女ではなく全ての人々、大人から子供までが毎日幸せにくらせるように…とにかく力強くない、生き生きしていない市、町、のんびりすぎではないか…。お年寄りの生活に大切なものをもっと増やして…。とにかく、とにかく元気がない市、町です。	—	60～64歳
今回のアンケート調査が届くまで取手市の男女共同参画について全く知りませんでした。このことで自身が知るきっかけにはなりましたが、市としてもっと積極的に発信をするべきだと思います。また、小中学校で性的マイノリティのことなど話をし、家庭で話をするきっかけを作ったりできればいいと思いました。簡単な問題ではないので、大変な道のりですが、取手市がよりよい街になることを期待しています。	男性	35～39歳
男女が共に働きやすく、家族において協力して住みやすくする中で、保育や子どもクラブ等を充実させる反面、子どもと過ごす時間が非常に少なくなっている今、そこも問題視していく必要があると感じます。	女性	35～39歳
「教育現場や行政・企業における女性管理職の積極的起用」と良く耳にしますが、これは時間も必要かと思えます。(人材育成のため)そういう高い目標も良いと思いますが、もっともっと現実を見てほしいです。PTAという組織を見ても、トップは男性ばかりですよ？その背景は何ですか？このアンケートにはかっこいいことがたくさん書いてありましたが、現実合っていない気がします。本当に現実を知っていたら、家事・育児・介護を「分」で聞きますか？	女性	35～39歳
平等という言葉の定義がとても難しいと感じていて、人によってとらえ方に差がある内容だと日頃から感じていました。世間一般で報道される内容も、個人的に「う～ん、そうかなあ？そんなの！？」と思うこともあります。男性女性LGBTQに関わらず、軽視することがいけないことは理解できるのですが、具体的な内容について、日常的に目にするのができたら、個人間の差が埋まってよい関係が築けるのかなと思います。例えば、男性に「彼女いるの？」は差別のようですね。「パートナーいるの？」が正解のようですが、そんなささいな意識を変えるのは、年齢が上になればなるほど簡単ではないです。	女性	35～39歳
本当に男女平等にするには、会社としての人数を男女ともに同じ人数、もしくは若干の人数のちがいにするといいと思う。	女性	35～39歳
子供達が使用する取手市藤代武道場(藤代430-5)の夏場の気温が40℃を超えている。エアコンの導入が必須である。子供達がかわいそうだ！！子供を預ける環境もなく、預けてもお金が高い為、パートからぬけ出せない。介護職が不足しているのであれば、優先して子供を預けられる環境をつくり、人材を確保すべき。市が身を切って抜本的な改革そして、子供が預けられる、安心して産める、育てられる取手をつくらないで、男女共同参画と言って家庭にまかせては、何もかわらない。	男性	35～39歳
あらゆる立場・考え方の人が、それぞれに必要なサービスを享受できるような体制を整え、それを周知していただけたらと思います。	女性	35～39歳
「男女共同参画」という言葉に違和感をおぼえる。個人個人の立場や気持ちを尊重すべきではないか。特に高齢の方は「こうあるべきだ」という意識が強い。若年層の方が柔軟に考えられると思う。	男性	35～39歳
「男女共同参画」というと、少し難しい事をするイメージがわいてしまいますね。男性でも女性でも、人間が安全で、毎日楽しくすごせる世の中になれば良いですね。今の時代、老若男女とわず、皆元気がないですね。元気に楽しく幸せに生きられる、そして自由に自分がやりたい事して生きていける世の中になれば良いですね。昔は皆前を向いて、上を向いて歩いてはいたはずだが…。	男性	55～59歳
第四次取手市男女共同参画計画を策定するにあたり、発信力を強めてほしいです。(冊子配布等)そのような計画があることを知らなかったです。	女性	44～49歳
役所内や職員など市の重要な役割を担う人たちの意識改革からしていった方がいいのでは？と思います。	女性	44～49歳
市内において男性中心の活動が多く、女性に対しての意識が低い。女性の活動の場が少ない。女性のリーダーがいらない起用の必要性。	男性	55～59歳

回答内容	性別	年齢
このアンケートの作成者が男性か女性かわかりませんが、問いに対する答えに女性の負担を増やすようなものが多く、残念に思いました。取手市の男女共同参画の担当者の方が、すでにある男女のあり方にとらわれていて、そのバイアスがかかっていると感じました。社会構造として女性差別が当たり前にあるのが日本だと思うので、行政や政治で変えていって頂きたいです。女性を差別するのは男性なので、女性ばかりに負担をかけるのではなく、男性、特に社会的地位の高い方、決定権を持つ方の意識を変えて頂きたいです。弱者にやさしい社会にしてほしいです。	女性	44～49歳
地域の役員さんが高齢の男性が多く、女性を「お手伝いさん」と思っている。行事に参加しても、訪問してきた政治家に忖度して握手をしている。ビールやお茶菓子を持ってこさせている。男女差について年齢によって考え方の違いを感じます。	女性	44～49歳
まだ認知度の低い取組かと思いますが、若い人たちがこの先、それぞれに活躍できる社会であってほしいです。	女性	44～49歳
女性管理職については、昇格試験への申込が少ないこともあり、少ないと感じる。ただ登用すればいいというものではないと感じる。女性の不利もある一方、男性の過度の負担もあると思うので、その視点からの見直しも必要と感じる。	男性	44～49歳
まず“取手市の男女共同参画”なるものの存在を良く知らない。取手市民にもっと知ってもらう事が必要だと思います。	男性	44～49歳
男女共同参画が進んでいる国から学び、日本でできそうな取り組みを考える。長くかかるかもしれないという認識。だからこそ、幼少の頃から性、LGBT、出産、仕事、DV、パワハラ、モラハラなどに対する正しい知識を学ぶ。異性同士の恋愛があたりまえという意識を変え、様々な(多様な)形があるということが普通になってほしいとニュースを見てしみじみ思います。家族も恋愛も、子どもをもつ・もたない、結婚する・しない、家事育児も得意な方がやればいいのかと思うので、どんな形も認められる人になりたい、人でありたいと自分では考えています。これからの社会をつくる子どもたちへ、柔軟な思考がもてるような支援をしていくといいと思います。自分もそういう教育をしています。	女性	44～49歳
先日、藤代庁舎にマイナンバーカードの更新手続きに行った際、管理職と見える男性が眠そうにしており、あきらかに眠そうに見えた。能動的に仕事をして欲しい事、市民、同じ職場の人から見て「お手本(本来当然)」となるべく姿を見せて欲しい。又、担当の方が、明らかに女性が多く見え、逆差別とも見て取れた。先に記載した管理職の男性ほどではないにしろ、私の会社、取引先には、ほとんどそのような様子はない。政治をはじめ、上に立つ人が見本となる姿を望む。信用と信頼が必要かと考えます。	男性	50～54歳
「男女共同参画」について、あまり知りませんでした。情報は発信して頂いていると思うので、もう少し興味を持とうと思いました。	女性	50～54歳
私が勤める会社には細かい制度や取り決めはありませんが従業員の声や要望に柔軟に対応しています。その中で対象となる人がおんぶに抱っここと甘えるのではなく、与えられた環境の中で主体性をもってどう強く生きていくのか考えられる社会であれば良いと思う。	女性	50～54歳
コロナ禍にともない人が見えない環境になりえる時その中において、個人、行政、教育、企業と連携がこれから大切だと思います。情報の迅速化、対策もこれからは一本にしぼるのではなく、あらゆる観点をとり入れられるように限定しておこなっていく、そのことでより良い生活スタイルを、個々が選んでいく場となれば理想ですが…。	女性	50～54歳
このアンケートをするまで男女共同参画と言う言葉を耳にしたことがなかった。もっと市民に伝わる様にしてほしい。	男性	50～54歳
女性が、普通に気軽に相談しに行けるような場所作りをして欲しいです。そこに行けば、女性達が休憩も出来、何かしら交流も出来、「あ、ちょっと相談して帰ろうかな…」と思えるような場所が理想的です。	女性	50～54歳
男女共同とか言葉を使わなくても平等に生活ができるようになる事が必要ではないかなと思います。何事も比べる事や違うものへの偏見をなくし、個人を尊重しつつ、社会へ貢献できる環境が大切だと考えます。	女性	50～54歳
議会も男性が多い。色々な立場の人が参加し、意見の言える場が欲しい。教育関連は古い老人が多く残っている。働く女性も多く、子育て、PTA活動の参加の仕方の見直し。	女性	55～59歳
女性の地位向上も大切な事ではありますが、女尊男卑に偏らない事も大切かと思えます。	女性	35～39歳

回答内容	性別	年齢
色々な立場の人間。子どもからお年寄りまで、皆さんがざっくばらんに意見の交換ができる場を作る。そこには性別や年齢、社会的立場があってはならない。相手を思いやる心を小さなころから育てていけるような環境が必要。そして教育も大事。男だからしなくて良いことなどない。女だからできないことなどない。一人の人間として、何ができるかで良いと思う。差別の心を持たないような教育が必要。それは大人の社会、職場でも教育してほしい。	女性	55～59歳
意識を変えるには時間が必要です。できる事から少しずつ子どものころからの教育は特に早めに必要だと思います。	女性	60～64歳
男女共同参画社会の現状として、他国と比較してもいまだに男尊女卑のところがあるのが否めない状況です。一番は女性が働きやすい環境づくりを担っていただければいいのではないかと思います。例えば市が仕事の斡旋をして(場所は市役所のどこかでも)、小さな子供と一緒に親子で出社→仕事→親子で退社、親は子供をみながら仕事ができ、人ともコミュニケーションがとれます。また、高齢者も小さい子供とコミュニケーションがとれる場を作ってもいいかもしれません。人(社会)の役に立つという意識をもつことが、これからの社会において必要だと思います。	女性	55～59歳
共同参画を充実させるには各々労働組合の意識が低いから積極的に働かせ強かに協力を求めるべきと思う。介護施設(民間)に支援し、公共施設と同額利用料金とすると良い。	男性	60～64歳
男女共同参画について、市民への情報不足だと思う。男女共同参画が何かさえわからない人が多い。	女性	60～64歳
年齢を問われて、このアンケートの最高齢の区分であることにあらまあ…と。長く生きたものです。私どもの若い頃に比べると共働きの家庭が多くなった現実と、その生活の中でやっぱり女性の負担が多い状態が続いていることを改めて思います。教育とかもお題目だけではなく、男女とも同じように仕事も家庭もやってみせる(実践)ことが次代の子どもたちの手本になっていくのでしょうか。→やれるように行政も手をかしてほしいと思います。	女性	65～69歳
今回のアンケートが来るまで取手市がこのこと(男女共同参画)について何かしていると感じたことがない。こちらの方が問題。	女性	65～69歳

(3) 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)に関する意見

回答内容	性別	年齢
男女共にどうしても家を空けられない、外に出て働けない状況の人がいると思います。(例えば育児、介護など)そういう状況にあっても収入が確保できるよう、在宅でできる仕事や在宅勤務など、勤務形態が選択できるようになるといいと思いました。育児=休業という考えはもう昔の考えなのかなと。	女性	40～44歳
夫は仕事が終わったら、決められた家事を1つこなし、やった感で終わりです。妻は、パートから帰ってきたら、夕食を食べるまで立ちっぱなし。食後も見えない家事を含め、寝る前まで家事をしています。母だけが働きっぱなしの社会。夫婦で家事を分担できる社会がきたら、幸せだと思います。	女性	44～49歳
育児や介護のサービスが充実したとしても、けっきょく費用が大きくなるのなら利用したくてもできない。	女性	44～49歳
ひとり親でも余裕を持って子育てができるような体制ができれば、若い人が増えて良くなると思う。	女性	50～54歳
行政で種々サポート体制を整えても、時間(800～1700土日休)対応の不備(民間への委託・委嘱等)を要するものもあると考える。画一的対応では難しいだろう。	男性	55～59歳
毎日の生活、仕事に追われ、知らないことがたくさんあったように思う。	女性	65～69歳
男女共同参画社会のテーマの主旨とは違っているかもしれませんが、私自身は積極的に行動を起こす人間ではありませんが、知的障害を持った長男をかかえて親同士が集まって、親の会を作ったり、子が大きくなった時には地元で働ける場がほしい(我が家の息子は施設に入所しましたが)など親が声をあげる事によって、たくさんのボランティアさんの助けを得て小さいお子さんの手を離れた母親が中心でしたが、いろんな才能やアイデアを持っている事に驚かされました。50代前後の方々を中心でしたが、その年齢層の方々には行動力があります。	女性	65～69歳

(4) 女性の就業・雇用に関する意見

回答内容	性別	年齢
取手市に限ったことではないが、とにかく女性は賃金が低い。4～5年勤めているのに、新入社員の男性に給与が負けていたりする。なぜ女性の賃金はこうも低いのか？将来に展望が持てない。強く社会への変容を求める。	女性	35～39歳
子どものことを考え、妻に仕事を辞めてもらいました。できれば3年ぐらいは預けたりしたくなかった。1歳で母と離れるのは早い気がします。自分たちで子どもを育てたかったので。このような形を望んでいる夫婦にも、育休に準じた補助があると助かります。	男性	40～44歳
「女性の起用」という言葉が多用されていたが、それ自体が女性の負担にならぬよう配慮が必要かな？って感じた(PTA役員みたく)。	男性	40～44歳
女性の収入の低さ、通勤時間の短縮、市内か近くの企業の雇用、取手市の学校・商業・企業の充実。	女性	55～59歳
女性の出産子育ての負担は男女が平等にあつかわれても減るものではなく、仕事との両立はかなり困難な上、企業は産休育休中、または育児時間をとる女性を1人として換算して人を増員しないため、まわりが疲弊してマタハラパワハラにつながっています。共同参画に逆流するようですが、出産育児中は一旦仕事を辞めて、何人かの子育てを終えてから、社会に復帰してキャリアを積めるような仕組みや、子供の病気や都合に合わせて自由にお休みがとれて、まわりに迷惑をかけずに働ける職種を作るなど今とは違った働き方を考えて行って欲しいです。(女性がほとんどの職場でリーダーをしています。若い母親の大変さと周りのフォローの大変さ、理不尽さをいつも感じています)行政にはそういう会社に補助をするなどして欲しいです。	女性	55～59歳
女性自身の資質の向上、考察力、調整力、説明力、寛大性。	女性	60～64歳
女性の再就職や子育て等の支援が必要。	女性	65～69歳

(5) 行政及び市の施策等に関する意見

回答内容	性別	年齢
父子家庭の環境整備(母子家庭への対策はあるが父子家庭はない)	男性	25～29歳
取手市にも男女共同参画の推進に関する施策があることを初めて知りました。(私が知らないだけかもしれませんが)知っている人は知っているのかもしれませんが、もっとどんなことに力を入れているのかアピールした方が良いと思います。認知されていなければ、施策やそこにかかる税金などが無駄だと思うので。	女性	20～24歳
子育て広場の充実、同じ子を持つ者同士の広場などがあると良いのではないかと思います。	女性	25～29歳
もっと子供が遊べる施設や公園整備をしてもらいたい。	女性	25～29歳
新しく取手に家を建てるという時に、助成をうけられず、他市なども土地の検討をしました。長く暮らすとなった時に、そういうのは大切だと思う。私達(友人も含め)移住してきた人間にご近所(もともと取手に住んで)の嫌がらせがひどいです。歩きたばこや町中のゴミなどを含めて治安が悪い。それは学童などでも言えることで、指導員のモラルをうたがいたくなる事も本当に多い。取手市を本当に良い町としたいのならば、現場に出てきて下さい。このアンケートは本当に生かされますか？	女性	30～34歳
保育所の増設や企業支援などにより、育児と就業を両立できる環境を整える必要があると思います。	男性	35～39歳
保育園を利用しやすくしてほしい。	女性	35～39歳
学校教育を根本から見直してほしい。小さいころから「自分自身を生きる」をしているだけで、いろいろな問題は解決すると思う。勉強とは学問だけでしょうか？学力が上がっても、人間力を身につけなければ生きていけません。すべて周りに合わせたり自分を表現できなかったり、親の顔を見ながらいること、自己肯定感の低さに問題があると思います。	女性	35～39歳

回答内容	性別	年齢
とにかく子どもが生まれなければ未来はないわけだから、子どもを育てやすい環境を整えるのはもちろん、悩みや不安を受けとめる窓口を増やすべき。	女性	50～54歳
目先のことでなく、中長期的な視点から施策を考えていただきたいと思います。特に子育て世代が安心して暮らせる制度が他の行政に比べて少ないと感じます。「未来のとりで」を担う方への積極的な制度やハード面、ソフト面の充実を切に願っています。(そうでなければ、取手市の人口は高齢化し、減少していくでしょう。)	男性	35～39歳
補助等を一律に年取で制限するのではなく、世帯の子供の人数を考慮した制限にすべき。生活に余裕をもつことが大切だと思います。	男性	44～49歳
戸頭北保育所をなくすのは、方法がひどいと思います。きちんとした説明がないから、納得いかない人が多数なのです。きちんと手順をふんで下さい。大変失礼な事案です。失策だと思います。	女性	44～49歳
育児や介護はどうしても女性の負担になってしまいます。2020年10月現在、コロナ感染により、行政に助けを求めることが制限され、育児、介護の主な担い手である女性に更なる負担が増えています。コロナ自粛で、奪われたものの一つは「社会との繋がり」です。その結果、認知症が増え、育児をになう女性の孤立、産後鬱が非常に増えています。ニューノーマルな生活様式の中、集団でコミュニケーションを取ることは難しくなっていますが、何とか知恵を出し合い、優しく思いやりを持って、人と人が繋がり合う機会を増やすことを行政主導で行って頂けたら救われる方がたくさんいます。男女共同参画の話題とは離れてしまい恐縮ですが、取手市は日本で一番早くオンライン会議を市議会に導入するなど、コロナ渦に対応した対策を打ち出し、即実行し、藤井信吾市長の手腕を僭越ながら改めて見直しています。その気概をもって、取手市が老若男女問わず、手を取り合って優しいコミュニティとなる事を心から願っています。この度はアンケート回答の機会を頂きありがとうございました。取手市に期待しています!!	女性	50～54歳
40代～60代の意識改革。教育・職場での講習等の必要性有。経済不安解消。職の確保、安定。法律・法案・条例等の国民・市民へ伝える事・理解してもらう事、実施活動等を知ってもらうための情報発信をわかりやすくする事。	女性	50～54歳
子どもの通う学校等でも、父親の育児参加等の積極参加等のイベントを設けて欲しいです。または女性だけではなく、父親も積極的な家事をしてほしい等の、教育等もして頂けたらと思います。	女性	40～44歳
市の施策を市民に浸透させる場として、最良なのは教育の場や行政スペースを活用する事かと思われますので、特に小中学校での啓蒙や、市役所などの行政スペースでの分かりやすい情報提供、市民新聞での広報などフルに活用すべきでしょう。またリーダー層への小規模な勉強からの口コミやSNSなども、積極的に利用すべきだと思量します。	男性	55～59歳
政策を実行する速度を早めていただきたい。	男性	60～64歳
市民にとって意味のある政策の実行を期待しています。	女性	50～54歳
特に60歳以上65歳未満男女につきまして、やはり福祉支援をもっと金額を多くしていただかなければならないと思っています。これからは一人暮らしが多くなる事なので?	女性	60～64歳
学童保育増(行政・民間)。男女共同参画に対して市民のみなさんに知ってもらうこと、そのための活動がもっと必要。	男性	60～64歳
議員定年制にしてほしい。年よりだと新しいことが進まない。	男性	60～64歳
市民税、県民税が高すぎる。(65歳以上は安くするべき)	男性	65～69歳
目標と進捗、併せて判例等の情報(世論)を踏まえ、他より進歩的であってほしいです。	男性	65～69歳
市として今までいろいろ質問していますが、やろうとしているんですか、やれるんですか。	男性	65～69歳
本当に考えるならもっとアピールしないとダメ。やれる事から確実に優先度をつけて実行していかなければいけないと思います。やりながら、軌道修正、実情に合った考え方等も取り入れれば良いと思う。	男性	65～69歳
働き方を変えることよりも、雇用の方法や制度ならびに、市の企業に対する支援を充実させて、若者に対するサービスを増やすことを望んでいます。高齢者のサービスが充実しすぎている気がします。	男性	30～34歳
①男女平等を問う前に、社会福祉協議会をはじめ市役所へ就職する時に、口ききなどの不正をしない。②パワハラ問題をおこした人間の処分を即時に行えるように、市役所と距離をとった第三者機関に依頼できるようにしておく。③女性の管理職を50%にする為に、2030年を目標に段階目標を決めて実行する。	—	—

(6) 地域社会・まちづくりに関するご意見

回答内容	性別	年齢
上記のような取り組みにより、取手市が居住地として魅力を感じ選ばれるまちであったら嬉しいです。	女性	30～34 歳
実家が遠い人で自分の親の協力が難しい人に対して、育児の手助けを考えてほしい。	女性	35～39 歳
中にも書きましたが、小・中・高のPTA活動の廃止を切望します。PTA会費を子供の配布物そのままに、広報とか地区委員等全ての役員をなくし、行事の際だけ声かけして手伝って下さった方に報酬として分配するなど雇用して下さい。やり方は様々あると思う。時代に合ったやり方を。本当に迷惑。子供産まない理由になる。	女性	35～39 歳
放課後デイサービスが増えると嬉しいです。きちんと中身のあるものが。	女性	35～39 歳
コロナで学童の人数制限をするのはやめて下さい。私立小学校に通う子供達も長期休暇には学童が必要です。環境を整えてもらえないと、親は仕事が出来ません。至急整えて下さい。それが小学生の親にとって1番助けになります。どうぞよろしく願います。	女性	40～44 歳
女性が住みたいと思う街づくりにすることが重要。歩道のアスファルトがでこぼこであることは市民として恥ずかしい。区画整理をしっかりと構築し、パリのような街づくりを目指してほしい。	男性	44～49 歳
平等よりも、近くの店や大型店などがなくなり、生活の質のQOLが取手市はどんどん下がって生活しにくい町になってきている。これでは、人口の流出が増えてしまう。又、年をとり車を運転しないと、どこへも行けずバスも本数多くないし、このまま取手に住みつづけることができなくなりそうだ！都内のようにバスの便もよく、出かけやすい町づくりをするべきではないか！人口少ないからムリだろうが。	女性	55～59 歳
男女共同参画の推進という視点とはちょっとずれると思いますが、取手駅から通ずる商業施設等に全く魅力を感じません。おしゃれな店舗がなくなり、パチンコ店やゲームセンター等必要ないと感じています。若者から高齢者がつつい立ち寄りたくなるような空間や店舗って大切ではないでしょうか…。例えば電車通勤して働いているヤングママ達が安心して子供を預けて働くための託児所等を設けるとか…駅まで子供と一緒に行って駅に預けて電車に乗って働きに行く、そして帰りにはまた駅まで寄っていけばすぐ迎えに行ける。こういう事も女性が安心して仕事に行けるひとつの手段ではないでしょうか。また、中・高年の一番お金を使える人達が楽しめる場所、店舗等、取り組んでもらいたいです。また防災、地域の環境問題に対し、課題を把握し、住民からの声を吸い上げ、市民が住んでいて良かったと思える街を築いていってほしいです。	女性	60～64 歳
高齢者の活用等を推進、積極的起用を検討されては。	男性	65～69 歳
介護職員が減少している、今後高齢が増える中、対応できない。施設の増設はしているものの、人員は？何年先…	女性	55～59 歳

(7) その他のご意見

回答内容	性別	年齢
調査内容で、現職者向けの設問で回答にこまる箇所ありました。	女性	65～69 歳
・アンケート内容が過去の子育て、現在の介護の答え方が難しい。もう少し年齢の幅をしばって子育て、介護分けた方が良い。・子育ても介護も複数の子や親を相手にするので答えも1つではない。	女性	50～54 歳
市民意識を調査した結果、取手市の今後の「何に」を活用する調査なのか？無駄な税金の使い方になっていると考える。男女共同参画として市民が男女としての意見を聞く事が必要。関わりたくない事へ参画になるかもしれない不平等を考えるべき。駅前でカラオケ大会をさせている事を責任の押し付け合いしているだけの役所(警察含む)達では、こんな壮大な取組みができると思えない。	男性	55～59 歳
各質問に対する解答例が具体性がなく、ただアンケートのために並べられた文章のように思われる。これで何を導き出し、どう活動していけるのか。おそまつ。一般論は不要。具体的に一歩ずつ着手してってください。地道にね。	男性	65～69 歳

回答内容	性別	年齢
どこまで本気が分からない。	男性	50～54歳
各部門共に機関や窓口、相談センター等があると思いますが、まだまだ担当者が自分の机にただ座っているだけのように見えます。もっと本気、必死になって取り組んで頂きたいと思います。電話対応や相談に来る人を待つだけの作業は誰でもできます。頑張ってください。	男性	50～54歳
香害について取手市としても扱ってほしいです。公共エリア、買い物するとき、電車なども、強い香り(芳香剤、柔軟剤、ペンキなどの揮発物)が多く毎日苦しんでいます。特に市役所、福祉センター、公民館などのトイレや入口に、香る消臭剤を使わないで頂きたいです。使えなく自宅に戻るしかないんです。	女性	25～29歳
取手市に住んで9年7カ月になろうとしています。男女共同参画とありますが意味が良く分からず、年齢も年が取って来て、言葉の意味が良く理解できていません。自分一人の考えで〇をつけました。	女性	65～69歳
お忙しい中ありがとうございます。こちらのアンケートの回答者がどのくらいの人数がいて、年齢層も分からないのですが、今まで当たり前だったことを変えていくことはとても難しいことだと思います。なので私は未来のある子どもたちにはいくつもの選択があり、皆が平等であること、でも親にとったらあなたが特別なんだと伝えて行きたいと思います。私のような一市民だけのこの回答で世の中を変えていけるわけではないですが、気持ち新たに子育てしていこうという気になりました。逆にありがとうございます。お仕事頑張ってください。	女性	30～34歳
あまりにもアンケートの質問が多いので、ほとんど協力が得られないと思うので、もっと内容を精査し、せめて10項目くらいにすべきだと思います。一目見ただけで多すぎて協力が得られませんが。	男性	65～69歳
計画策定に伴い、市民アンケートを実施することは、今後の事業実施を進めるにあたり有効な手段であると思います。しかし平成27年度に行った「第三次取手市男女共同参画計画」を策定する際のアンケート調査結果をみると、市民2500名に対し、回収された資料は822件、回収率は32.8%でした。この32.8%は決して少ない数とは思いませんが、令和2年7月1日現在の年齢別人口(18歳～69歳までの人口約67000名)に照らし合わせてみると、わずか1.2%という低さです。(平成27年度の対象年齢が分からないので単純に比較はできませんが)。市民の意識や意見を参考にしたとしても、わずか1.2%では市役所主導の計画になるのではと危惧しております。そこで予算のこともあるでしょうが、分母を増やすとか、少しでも回収率を上げるための様々な活動が必要ではないでしょうか。そしてぜひ取手市が、男女共同参画社会実現に向け、全国的にモデルとなるような発展的な計画を策定して頂きたいと存じます。せっかく実施するアンケート調査なので、アリバイ作りのアンケート調査にならないことを望みます。	男性	65～69歳
収入対差有るのに同じくらしは出来ない。支払い有りすぎ。年金の金額の低い暮らしの人にはもう少し援助を。いろんな意味で…これからの子供達はかわいそう…。ますますくらしにくい世の中になりそうで恐い。	女性	65～69歳
あらゆる分野において社会弱者となり得るのは少数派の人々。アンケート集計により多数となった意見に傾倒しすぎません様に。全ての基本には、個々の人権の尊重。考えは個々に異なるものです。	女性	55～59歳
小さな子供たちに、道徳の教育をしっかりすれば、人間として生きていく基礎が作られていくと思う。今の子供たちに足りない事はその基礎がないと思う。人に対しての思いやりを学べば、男女関係なく、人としての助け合いを学び、すべての人々が生きやすい環境を作っていく事が出来、この事が一番大事だと思う。	女性	65～69歳
こんにちは。この度はアンケートをお送りいただきありがとうございます。アンケートの回答に対し補足したいところがあり、こちらの便箋を同封させていただきました。問9の⑥で働くときに旧姓を通称として使用してもよいに「1そう思う」と回答させていただきましたが私の本当の気持ちを正確に説明させていただくと「本人達が望むなら連れ合いとなった者同士の片方が姓を変える必要がない。どちらも別の姓のままでもよく、自分の望む姓を通称でなく正式なものとして扱うことができる」です。連れ合いとなる前の姓を通称として用いられるようになって「あくまで通称なんだ…」という気持ちがつきまとう人もいられるでしょうし、互いに別の姓をとっても正式な家族として扱っていただけることで助かる人も多いと思います。誰かと連れ合いになったとしても姓を変える必要がなくなるといいです。(もちろん同姓にしたい人は同姓にしても大丈夫で)どうぞご意見のひとつとして参考にさせていただけると幸いです。	自由記載	25～29歳
かなり大変なアンケートでした。内容が細かく、対象者をもっと絞る必要があると思います。老人二人暮らしのため、有意義な意見は書けませんでした。必要としている方をリストアップして、効率アップ、無駄な税金は使わないでほしい。	女性	-

回答内容	性別	年齢
実のない名誉職のポジションを作らない。	男性	60～64 歳
本アンケートも含め、WEB回答が可能である方が回答率向上が可能だと思う。	男性	30～34 歳
なりゆきに任せる。	男性	55～59 歳
取手市に引っ越してきてまだ間もないのですが、取手市の取り組みを知る機会やきっかけが少ないように思います。広報誌はアプリでも見られますが、やはり紙面でポストインが一番みんなの目に触れて良いと思います。	女性	30～34 歳
取手の町が大好きで東京から戻って来ました。市民を想ってどういう施策を図るかのアンケート調査はとても嬉しく思いました。ありがとうございます。	女性	50～54 歳
女性蔑視ではなく男性蔑視の職場や場所もある。このアンケートは男性蔑視ではないか？	男性	50～54 歳
アンケートは8ページ程度に願います。全数無作為でなく世代別に区分けて世代毎に無作為にした方が現実に近いアンケートがとれる。	女性	50～54 歳
この調査は強制なのでしょう？アンケートと記されていないながら、催促のハガキが到着しました。@63×2500人＝¥157500(最大)がもったいない税金の使われ方だと思います。アンケートならば、お待ちいただくようお願いしたいものです。行き違いで投函されている方もいるでしょうし…。	自由記載	35～39 歳
取手市ではどのような人材が必要なのか。情報を発信して頂ければ出来る限り自分で出来る事に参加したいと思います。又、勉強会等があると良いです。	女性	65～69 歳
何もありません。取手市に期待していませんので。	女性	50～54 歳
このようなアンケートに参加できる機会をいただき、ありがとうございます。これからの社会を担う一員として、働きやすい環境づくりにご尽力いただいている皆様に感謝いたします。	女性	25～29 歳
質問が多くて回答するのが大変でした。(選択肢が多く、長文の為、時間がかかった)	女性	55～59 歳
調査内容の構成について一考願いたい。分かりにくい、面倒、専門用語etc。	男性	60～64 歳
あまり答えたくない、もしくは答えられない、答えづらい質問は書きませんでした。どうかお願いいたします。	男性	30～34 歳
配偶者を失うとこんなにもいろいろ手続きなど大変なので頭がおかしくなりそうです。それでも子供がいる事が非常に生きる力になり子供は多い方がいいと思いました。	女性	65～69 歳
今年の健康診断の問い合わせ予約が繋がらなくて、大変不便でした。	女性	44～49 歳
まず、保育園出身者のたかりが多くて困っています。男女共同参画社会の前にあたり前の習い事もしていない人間が相手をダメにしていると思う。	女性	35～39 歳
パワハラ、セクハラなど店長など責任者がしている場合、どこに相談するのかわからない。皆がまんして働いている。	女性	30～34 歳
アンケート結果を広報誌やホームページで公表して頂けると、大変参考になります。	女性	35～39 歳

取手市 男女共同参画に関する市民意識調査
調査結果報告書

令和3年3月

発行 : 取手市
企画・編集 : 取手市 総務部 市民協働課
